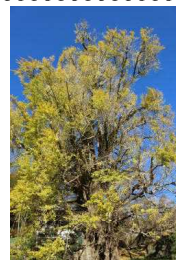


神小だより

第9号

令和5年11月24日



歌って踊ってSDGsについて考えました。

11月20日(月) t a m u劇団の皆様をお招きし、前半は、劇を鑑賞しながらSDGsについて教えていただき、自分たちにできることについて考えました。後半は、劇中の歌と踊りを広野小の児童も一緒に元気に踊りました。児童にとって、SDGsの内容はもちろん、大勢の前で元気にパフォーマンスするt a m u劇団のみなさんにたくさんの感動をいただいたようです。



食育パワーアップ作戦～楽しくごはんを食べよう～



11月14日(火)～16日(木)の給食の時間、栄養教から「食事のあいさつ」「野菜パワー」「食事のマナー」「正しい配膳」など学年別のテーマに合わせて、お話がありました。普段聞けない貴重な話をたくさん聞かせていただき、子どもたちも新たな発見があったようです。

シイタケ工場を見学してきました。(3年)

11月15日(水)、3年生が鬼籠野のシイタケ工場を見学に行きました。よく勉強していたので、シイタケの説明をしてくださった方も「よく知ってるねえ」と褒めてくださいました。菌床ブロックの作り方をしたり、収穫をシイタケを食べさせていただいたり、とても貴重な経験になりました。みんなシイタケが大好きになったようです。



4年生が人形浄瑠璃の体験学習をしました。(4年)



11月22日(水)、4年生が寄井座の方をお招きし、人形浄瑠璃を体験しました。始めに「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」を寄井座の皆さんが上演してくださいました。その後、3人一組で人形を操る体験をしたり、気になっていたことを質問したりしました。伝統を守ろうとする方の熱い思いが伝わりました。

校長室から ～神小っ子の学びと育てたい力について～

神領小学校では、子どもたちに身に付けさせたい力として4つの力（①関わる力【他者との調整力】②自己表現力③レジリエンス【立ち上がる力】④豊かな感性）を挙げ教育活動を行っています。特に本年度、6年生の前川教諭が神領小学校を代表して、徳島県人権教育研究大会で神領小学校の取組を発表しました。また、文部科学省から指定を受け取り組んでいる『命の安全教育』についても紹介させていただきます。

確かな人権感覚を身に付け自立した生き方ができる児童の育成について

1. 児童どうしが交流できる活動（関わる力、自己表現力）

①スマイル班での活動

異学年で構成されたスマイル班で、毎日の清掃や月1度の休み時間遊びなどの活動を行っている。低学年児童にとって高学年児童はロールモデルとなり、高学年児童の自己有用感も高まっている。



②全校朝会

スマイル班でのクイズ大会や話し合い活動を通して、班の意見をまとめたり、自分の意見を積極的に表現したりする機会としている。高学年が中心となって話し合いの方向修正をしたり、納得できる回答を見つけたりすることができるようになってきている。

③アイスタイム

担当学年が教科学習等で学んだことを発表し、発表を聞いた児童が意見や感想を述べる活動となっている。全校生の前で自分の意見や考えを言うことは、初めての児童にとって難しいことではあるが、機会を増やすごとに自分の言葉で発表できる児童が増えてきている。



2. 地域との連携（関わる力、レジリエンス、豊かな感性）

①NPO法人「まちの食農教育」との連携

NPO法人「まちの食農教育」と連携し、花や野菜を育てる活動を行っている。花や野菜を育てることで、五感を働かせて観察したり、命の尊さや命のつながりを体感したりする機会となっている。また、失敗する経験から収穫まであきらめずがんばることを学んでいる。



②ふるさと学習

神山町には、阿波踊りの連や人形浄瑠璃の座があり、4年生では伝統文化に触れる機会としてお話を聞かせてもらっている。2年生では焼山寺へお接待体験に出かけ、様々な方と関わるよい機会となっている。他にもたくさんの地域の方にご協力をいただいて、地域の「人・もの・取組」から、それに関わる人たちの思いや願いを受け取ることができている。



「生命（いのち）の安全教育」の取組について

令和2年6月に政府の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命の安全教育」を推進することになりました。本校においても、子供たちを性暴力の当事者にしないために生命の安全教育を通して、生命を大切にする考えや自分や他者、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けられるよう努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

これに関連し本年度、神山町が文部科学省の指定を受け、広野小学校とともに研究に取り組んでいます。これまでに、両校合同での教職員研修やゲストティーチャーをお招きして研究授業等を進めているところです。



合同の研究授業では「自分の命や身体を大切にする事」「自分と自分以外の人との境界線」「不本意な接触等に対し、『いやだ』と言えること」を中心に学びました。

今後の取組の中で、「性に関する事」についても学習していきます。不安な点などがありましたら担任を通じて学校へご相談ください。